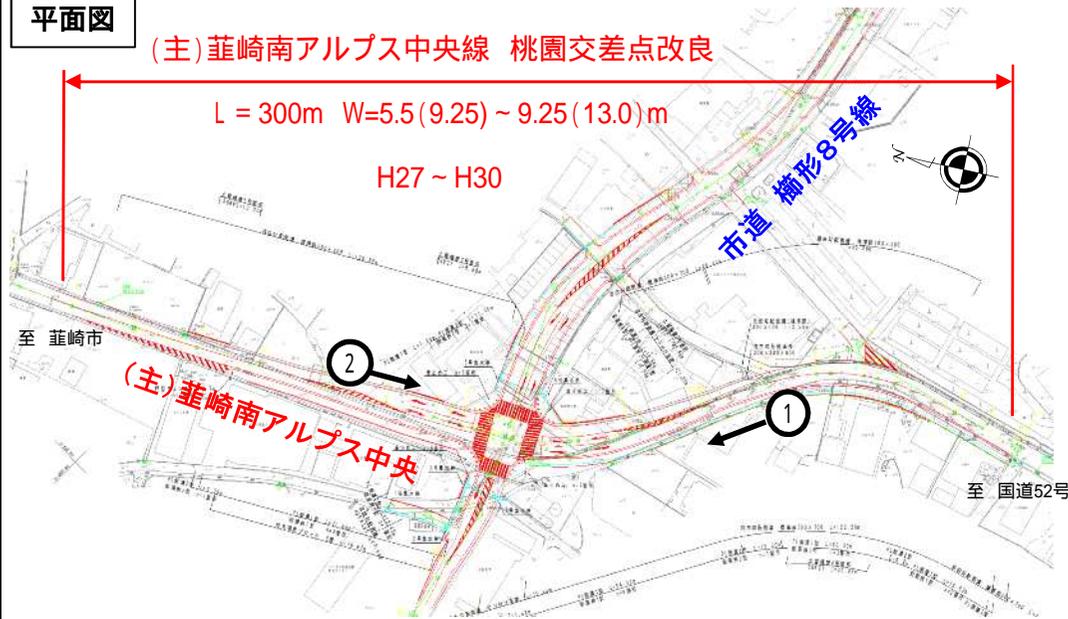


1. 事業評価説明シート

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業（国補）]	事業箇所	南アルプス市桃園	地区名	（主）葦崎南アルプス中央線	事業主体	山梨県
（1）事業概要 課題・背景 主要地方道葦崎南アルプス中央線は、葦崎市を起点とし南アルプス市を經由して中央市浅利の国道140号に至る全長34kmの路線であり、災害時には第二次緊急輸送道路として大きな役割を果たす重要な道路である。 当該桃園地区は、幅員が狭いうえ、視距も確保されておらず、大型車が通行する際、曲線部においては、すれ違いが困難な状況である。また、市の道路改築事業と交差することからも、これに合わせ本路線の改良を行い整備効果を高めたい。				（3）事業の妥当性評価			
整備目標・効果 主要目標 交差点の安全性、円滑性の向上 死傷事故率 48件/億台キロ < 100件/億台キロ以上 自動車交通量 3,525台/12h（H22センサス） > 3,314台/12h以上 道路構造令への適合 否（視距の確保等）				妥当・妥当でない 公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い			
副次目標 歩行者等の安全性の確保 歩行者・自転車交通量 48人台/12h < 71人台/12h以上 自動車交通量 3,525台/12h（H22センサス） > 3,314台/12h以上 通学路の指定 あり（櫛形北小学校） 現況の歩道幅員 0m < 1.4m未満				事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 県管理県道であり道路法第15条により県が行うべき事業である			
副次効果 緊急時の避難・救助機能の確保 （第二次緊急輸送道路の整備）				経済妥当性 交差点改良事業であり、局所的な工事のため費用便益費は算出せず			
（2）整備内容と整備量 整備内容 交差点改良 L = 300m W = 5.5 (9.25) ~ 9.25 (13.0) m				事業実施・規模の妥当性 交差点改良を行う上で、必要最低限の範囲である			
整備期間 平成27年度～平成30年度				整備手法の有効性 市道櫛形8号線の整備もあることから、市と連携し周辺への影響を小さくするとともに、最も経済的な計画とした			
総事業費 約300百万円（国費195百万円(6.5/10)県費105百万円(3.5/10)）				環境負荷への配慮 設計にあたり環境への影響が最小限となるよう計画する			
全体計画 （年度別整備内容） （事業費）				事業計画の熟度 地元の要望に対して、県及び市で事業の説明をしており熟度は高い			
平成27年度 詳細設計・用地測量・調査業務 30百万円 平成28年度 用地取得 70百万円 平成29年度 用地取得 100百万円 平成30年度 交差点改良工事 100百万円				総合評価 [貢献度ランク：a]			
既整備内容・期間・事業費 なし				【事業位置図等】 			
				凡例 			

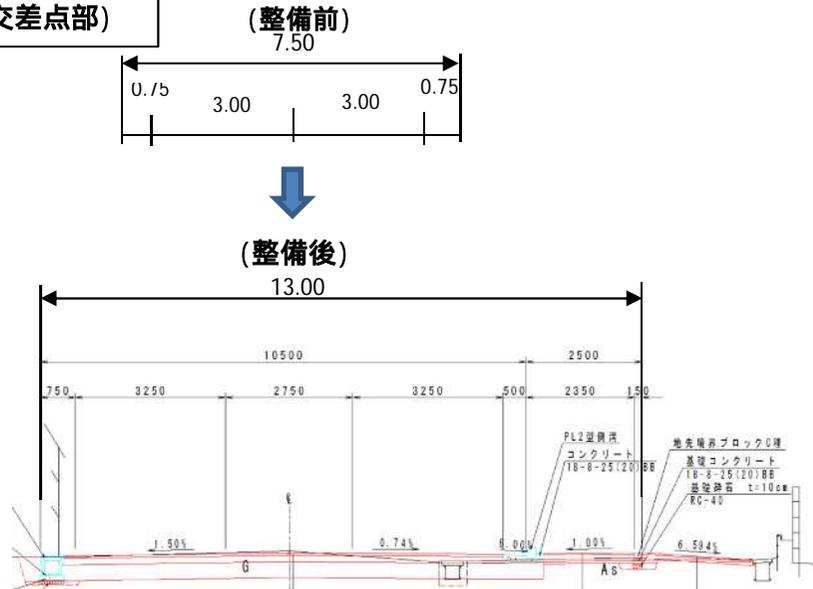
2. 添付資料シート

平面図



桃園交差点 視距不良 (交差点南より)

標準横断面図 (交差点部)



桃園交差点 大型車走行状況 (交差点北より)